

製品名: CLP36 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab09062

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量 | 36kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | PDLIM1 |
| 別名 | PDLIM1; CLIM1; CLP36; PDZ and LIM domain protein 1; C-terminal LIM domain protein 1; Elfin; LIM domain protein CLP-36 |
| 遺伝子 ID | 9124.0 |
| SwissProt ID | O00151 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト PDLIM1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110 |

背景

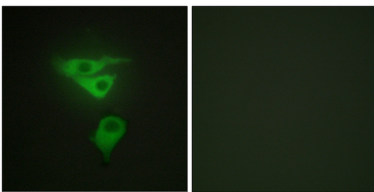
この遺伝子は、エニグマタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、2つのタンパク質相互作用ドメイン

ン、すなわちアミノ末端に1つのPDZドメイン、カルボキシル末端に1~3つのLIMドメインを有しています。細胞質タンパク質であり、細胞骨格と結合しています。このタンパク質は、他のLIM相互作用タンパク質を細胞骨格へ輸送するためのアダプターとして機能する可能性があります。この遺伝子に関連する擬似遺伝子は、3番染色体、14番染色体、および17番染色体に位置する。[RefSeq提供、2012年10月]機能: 細胞骨格タンパク質。他のタンパク質(キナーゼなど)を細胞骨格へ運ぶアダプターとして機能する可能性がある。類似性: LIM亜鉛結合ドメインを1つ含む。類似性: PDZ(DHR)ドメインを1つ含む。細胞内局在: アクチンストレスファイバーと関連する。サブユニット: α -アクチニン1、2、および4と相互作用する。組織特異性: 心臓および骨格筋で強く発現し、脾臓、小腸、結腸、胎盤、および肺で中等度の発現を示す。肝臓、胸腺、腎臓、前立腺、および膵臓では低レベルの発現が認められ、脳、精巣、卵巣、および末梢白血球では認められない。

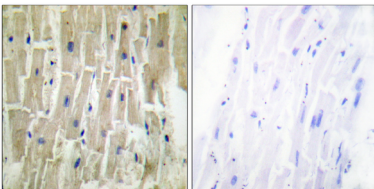
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

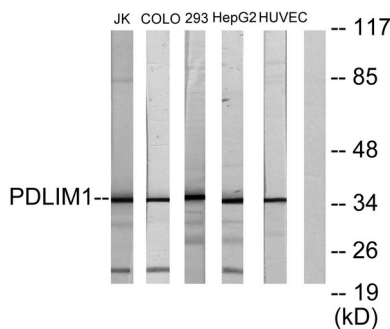
画像データ



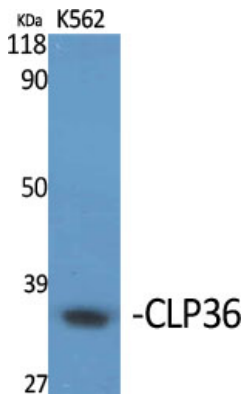
PDLIM1抗体を用いたHepG2細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



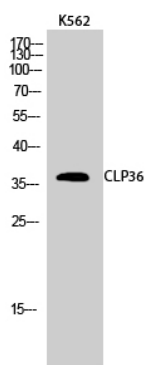
PDLIM1抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像。



PDLIM1抗体を用いたJurkat細胞、COLO205細胞、293細胞、HepG2細胞、およびHUVEC細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



CLP36 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



CLP36 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析